



NPO PTPL “ともいき” 便り No.132

平成 29 年（2017 年）10 月 8 日発行

■寒露（かんろ） 10 月 8 日から 10 月 22 日までの節気

先日、和菓子屋さんに行きました。「初紅葉」という名前の和菓子がありました。かえでの葉の形をしていて、まだほとんど緑色。はしのほうがほんのり赤く色づいていました。これから秋が深まるにつれ、和菓子のかえでも色づいていきます。二十四節気では、10 月 8 日から 22 日まで、「寒露」の節気です。「野草の露が寒さで霜にかわる」ころ。たしかに、夜 9 時ごろ犬の散歩にいくと日に日に寒くなってきたなと感じます。日もずいぶん短くなってきました。

9 日は国民の祝日「体育の日」です。趣旨は「スポーツにしたしみ、健康な心身をつちかう」こと。オリンピック東京大会の開会式が昭和 39 年 10 月 10 日だったのを記念してさだめられました。平成 12 年から 10 月の第 2 月曜日になりましたが、私が子どものころは、10 月 10 日でした。東京オリンピックには小さな思い出があります。私は小学生でした。父が高校の体育の先生だったので、五輪マークのついた運動靴を学校に出入りしている運動具店から買ってきてくれました。真っ白な運動靴に五輪マークがプリントされていました。私はなぜかそれを履くのがいやでたまりませんでした。そこで五輪マークを消すためにおもいっきり汚したのを覚えています。なぜそういう気持ちになったのか自分でもよくわかりません。まわりがオリンピック一色でとても盛り上がっていたので、自分は関心がないという態度をとりたかったのかもしれない。2020 年のオリンピックは、もっと素直に楽しみたいものです。

さて新米のおいしい季節です。10 月 15 日(日)～17 日(火)は、神嘗祭で、伊勢神宮で一番の大祭です。五穀豊穰を感謝するお祭りで、天照大御神が天上の高天原において、その年にとれた稲穂を食されたという「古事記」の神話に由来しています。新米も楽しみですが、新そばのシーズンもはじまります。私の叔父が福島でおそばやを営んでいます。叔父は、北海道の幌加内で生産される

そば粉が、香りがよくて好きなのだそうです。その幌加内のそば粉と、福島県が開発した会津の香りというそば粉をブレンドしてそばをうつそうです。幌加内は1970年代に米の減反政策が始まって、米の代替作物としてそばの作付けが行われるようになり、冷涼な気候、昼夜の寒暖の差、日中の気温上昇を穏やかにする朝霧などの自然条件がそば栽培に適していたことなどから今では、日本一の生産量をほこるようになったそうです。お米もおそばも、おいしい季節です。

おいしいごはんといえば、漬物ですね。19日から20日にかけて東京都中央区日本橋本町の宝田恵比寿神社一帯で、干し大根をあめと糍につけた漬物を売る「べったら市」が開かれます。もともと二十日恵比寿講につかう品物や道具を売る恵比寿市だったのですが、大根の浅漬けが飛ぶようにうれたので「べったら市」といわれるようになりました。この浅漬けを買った人は縄でしばったまま持ち帰っていたので、人混みの中で行き違う人の着物に浅漬けの糍がつかないように、「べったりついても知らないよ〜」と掛け声をかけながら歩いたそうです。べったら漬けは私も大好きです。ごはんがすすんでしまいそう。

では、みなさんも食べ過ぎと急な寒さに気をつけて、紅葉の美しい季節を楽しんでください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

★ある日、ジャガランダの木の下で、デッキチェアに座り、考えたこと。

「日本の歴史を振り返ってみると……。

やはり日本は「ともいき」が根本です。

現代社会において、改めて自然への畏怖畏敬、自然への感謝、そして自然への祈りを、われわれの心の中に、われわれの日常生活のなかにもう一度、力強く取り戻し、安全で豊かな生活を支える環境をつくり上げるところに真の意味における、人間と自然の共生、つまり「ともいき」を基本とする国土の自然への

再生と伝統ある日本文化の発展があるに違いありません。

日本は「ともいきの国」なのです。

★お隣の中国では10月1日から8日間（国慶節・建国記念日）の大型連休がスタートしました。

約7億人が国内外を旅行すると見込まれており、海外へは過去最高の600万人が出掛けると予測されているそうです。（人気渡航先・第1位はタイ、第2位は日本ということ。）

今週は繁華街、どこへ行っても中国人観光客を見かけることでしょう。

「何かいいことありそうだな。行ってみたい日本へ。」「もっと知りたい、これが日本、これも日本。」という気持ちで訪れる中国人が日本の良さを充分に知り、理解して帰ってもらいたいものですね。

★「フグ」「フク」そして「虎河豚」。

この時季の旬といえば、やはり河豚（ふぐ）ですね。下関市をはじめフグの本場ではフグを濁らずフク（福）、その王者は虎河豚で、下関市南風泊（はえどまり）港では9月の終わりごろから競りが始まり、10月からはシーズンたけなわです。

最近では養殖技術が発達し、天然ものを凌駕する品質のものも出てきているようです。

（私はまだ養殖のフグを食べたことがありません。試してみたいと思っています。）



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

- 寒露の節氣を迎え、朝晩は涼しさを乗り越し、少し肌寒いぐらいの季節になりました。事務所近くを流れる目黒川のほとりの小さな公園に、休憩しに行きますが、木陰より陽の当たっている場所を選ぶ今日この頃です。
本文にもあるように、新米が出回り、新酒の仕込みは始まります。改めて日本は「お米の国だなあ」と感じます。

- 是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp